日野市公の施設の指定管理者候補者の選定に係る審議報告書

平成23年11月8日

日野市指定管理者候補者選定委員会

日野市長 馬場 弘 融 様

日野市指定管理者候補者選定委員会
委員長 坪島 尚

日野市公の施設の指定管理者候補者の選定に係る審議報告書

日野市指定管理者候補者選定委員会は、平成24年4月1日から、日野市が予定している下記の公の施設の管理・運営に、地方自治法第244条の2で規定する指定管理者を導入するのにあたり、「日野市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例」（以下「条例」）の規定に基づき、事業者から提出された事業計画書の書類審査及び事業者によるプレゼンテーションと質疑応答による審査を行いました。

審査に先立ちましては、対象施設の選定方法について、管理運営実績状況や市の施策を円滑に推進するため、条例第2条の公募による選定と条例第5条の公募によらない選定で行うという方針が、市から示されました。

以上のことを踏まえ、市民委員4名、行政委員6名の計10名の委員で、慎重に審議をした結果、審査が終了いたしましたので、「日野市指定管理者候補者選定委員会設置要綱」（以下「要綱」）第2条に基づき、次のとおり報告いたします。

1. 指定管理者候補者選定までの経過

(1) 選定を行う施設一覧

- ・日野市立とよだ市民ギャラリー（公募）
- ・日野市民会館、七生公会堂、七生福祉センター（3施設を一括で非公募）
- ・交流センター6施設（豊田駅北、南平駅西、東町、落川、新町、平山）（6施設を一括で公募）
- ・日野市勤労・青年会館（公募）
- ・日野駅西駐輪場、豊田駅南第4駐輪場（2施設を一括で公募）
- ・日野市立中央福祉センター、日野市立湯沢福祉センター（2施設を一括で公募）
- ・日野市立つばさ（非公募）
- ・日野市立やまばと（非公募）
- ・日野市立はくちょう（非公募）
- ・日野市立希望の家（非公募）
- ・日野市東部会館（非公募）
- ・日野市立万願寺交流センター（非公募）
- ・日野市立多摩平交流センター（非公募）
- ・日野市民プール（公募）
- ・日野市立グラウンド等（14施設を一括で公募）

(2) 候補者の募集

条例第2条及び第5条の規定に基づき、上記(1)の施設において、指定管理者の候補者を募集

指定管理期間は公募施設5年間、非公募施設は2から3年間。

(3) 応募状況（平成23年7月15日号、平成23年9月1日号の「広報ひの」及び同日付をもって日野市のホームページで募集。）

- ・日野市立とよだ市民ギャラリー（1社応募）
- ・日野市立交流センター（豊田駅北、南平駅西、東町、落川、新町、平山）（1社応募）
- ・日野市勤労・青年会館（1社応募）
- ・日野駅西駐輪場、豊田駅南第4駐輪場（1社応募）
- ・日野市立中央福祉センター、日野市立湯沢福祉センター（1社応募）
- ・日野市民プール（3社応募うち1社辞退）
- ・日野市立グラウンド等（全14施設）（5社応募うち1社は審査対象外）

(4) 選定委員会の設置及び開催経過

日野市指定管理者候補者選定委員会は、条例、日野市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則、要綱に基づき、平成23年8月11日に設置され、下記のとおり開催いたしました。

[第1回] 平成23年8月11日（木）

主な議題：委員長の選出及び選定基準の決定

[第2回] 平成23年8月26日（金）

主な議題：日野市立とよだ市民ギャラリー（公募1社）、日野市民会館、七生公会堂、七生福祉センター（非公募1社）に係る、応募事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答、採点

[第3回] 平成23年8月31日（水）

主な議題：日野市立交流センター6施設（豊田駅北、南平駅西、東町、落川、新町、平山）（公募1社）、日野市勤労・青年会館（公募1社）に係る、応募事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答、採点

[第4回] 平成23年10月5日（金）

主な議題：日野駅西駐輪場、豊田駅南第4駐輪場（公募1社）、日野市立中央福祉センター、日野市立湯沢福祉センター（公募1社）に係る、応募事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答、採点

- [第5回] 平成23年10月11日(火)
 主な議題：日野市立つばさ(非公募1社)、日野市立やまぼと(非公募1社)、日野市立はくちょう(非公募1社)、日野市立希望の家(非公募1社)に係る、応募事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答、採点
- [第6回] 平成23年10月13日(木)
 主な議題：日野市東部会館(非公募1社)、日野市立万願寺交流センター(非公募1社)、日野市多摩平交流センター(非公募1社)に係る、応募事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答、採点
- [第7回] 平成23年10月18日(火)
 主な議題：日野市民プール(公募2社)に係る、応募事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答、採点
- [第8回] 平成23年10月20日(木)
 主な議題：日野市立グラウンド等(公募4社)に係る、応募事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答、採点
- [第9回] 平成23年10月25日(火)
 主な議題：各施設の採点表の確認と指定管理者候補者の選定決定。まとめ及び審議報告書の作成。

2. 選定基準

条例第4条第1号から同条第5号の基準に基づき、厳正かつ公正な審議を行いました。(詳細は施設ごと参照願います)。

3. 選定方法

施設ごとに、応募事業者から提出された事業計画書の審査を行うとともに、各事業者によるプレゼンテーション、事業者への質疑応答、また事業者の実績等も考慮した総合的な審議を経た上で当該施設の指定管理者候補者を選定しました。

4. 選定の結果

施設名	選定候補者名	指定期間	選定方法
日野市立とよだ市民ギャラリー	株式会社 日野市企業公社	5年	公募
日野市民会館、七生公会堂、七生福祉センター	株式会社 日野市企業公社	3年	非公募
日野市立交流センター6施設(豊田駅北、南平駅西、東町、落川、新町、平山)	株式会社 日野市企業公社	5年	公募

日野市勤労・青年会館	株式会社 日野市企業公社	5年	公募
日野駅西駐輪場、豊田駅南第4駐輪場	株式会社 日野市企業公社	5年	公募
日野市立中央福祉センター、日野市立湯沢福祉センター	社会福祉法人 日野市社会福祉協議会	5年	公募
日野市立つばさ	社会福祉法人 日野市福祉事業団	2年	非公募
日野市立やまばと	社会福祉法人 日野市福祉事業団	2年	非公募
日野市立はくちょう	社会福祉法人 日野市福祉事業団	2年	非公募
日野市立希望の家	社会福祉法人 日野市福祉事業団	2年	非公募
日野市東部会館	株式会社 日野市企業公社	3年	非公募
日野市立万願寺交流センター	NPO 法人 日野子育てパートナーの会	3年	非公募
日野市立多摩平交流センター	NPO 法人 市民サポートセンター日野	3年	非公募
日野市民プール	シンコースポーツ 株式会社	5年	公募
日野市立グラウンド等(全14施設)	株式会社 フクシ・エンタープライズ	5年	公募

5. 審議全体の総括

今回の審議した施設は、平成21年度に指定管理者制度を導入した更新施設と新規導入施設です。応募事業者より提案された事業計画書は、現在の施設の管理・運営状況を十分把握・理解した上で創意工夫された提案がされておりました。

本選定委員会では、選定基準に則り厳正かつ公平に審議しました。

複数応募事業者の中より、最も適切と判断される事業者を候補者として選定しました。また、応募事業者が1社或いは公募によらない事業者については、一定の管理運営能力を有する事業者であるか、指定管理者候補者となり得る事業者か判断して候補者を選定しました。

本選定委員会では、指定管理者制度導入で更なる市民サービスの向上を図れるように、協定締結にあたっての意見を付します。

(協定の締結にあたって)

- ・協定締結にあたって、管理基準仕様書に加え市民サービスにつながる提案及び各施設の選定にあたっての要望事項を織り込んでいただきたい。
- ・指定管理者制度を導入した目的や効果が発揮されるよう、市は常に指定管理者の管理・運営状況をチェックしていただきたい。

- ・施設の有効利用を一層促進するため、施設を利用する市民などの声を聴き、自主事業の権限の範囲内での自由な発想と運営が出来るように指定管理者の指導をしていただきたい。

(指定管理者の選定について市への要望)

- ・ 指定管理者の候補者の選定にあたり、募集要項等を見直すなどの改善を加え、本制度が今後さらに有効に運営されるようにしていただきたい。
 - ア) 提案書様式について、例えば収支計画書の人件費の詳細添付や雛形表示等が分かり易いようにしていただきたい。
 - イ) 応募事業者が複数施設に応募される場合には、添付される事業者の関連資料が重複されていた場合には省略していただきたい。

6. 選定委員名簿

委員長	坪島 尚 (市民委員)
副委員長	荻原 弘次 (行政委員・企画部長)
	岡村 洋子 (市民委員)
	菊池 政雄 (市民委員)
	鈴木 直美 (市民委員)

栗原 修 (行政委員・総務部長)

以上、固定委員

大坪 冬彦 (行政委員・まちづくり部長)

※日野市勤労・青年会館担当

川久保 紀子 (行政委員・健康福祉部長)

※七生福祉センター、日野市立中央福祉センター、湯沢福祉センター

福島 敏幸 (行政委員・まちづくり部建設担当参事)

※日野駅西駐輪場、豊田駅南第4駐輪場担当

村田 哲也 (行政委員・まちづくり部芸術文化担当参事)

※日野市民会館、七生公会堂、日野市立とよだ市民ギャラリー、日野市民プール、日野市立グラウンド等 (全14施設) 担当

施設名：日野市立とよだ市民ギャラリー

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①サービス向上のための方策があるか。
 - ②市民の芸術の創造と普及の場として、市民文化の向上を図るための提案がされているか。
- ・公の施設の効用を最大限に発揮することについて
 - ①施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。

(2) 応募団体名

株式会社 日野市企業公社

(3) 採点表

7名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	(株)日野市企業公社 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	189	315点 (45点×7人)
	②だれでも利用できる配慮はなされているか。		
	③施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	④地域との連携が図られているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (第4条第2号)	①施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。	162	245点 (35点×7人)
	②事務効率、経費削減等の工夫がされているか。		
	③施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	230	350点 (50点×7人)
	②同種の施設管理運営実績があるか。		
	③防災・防犯及び非常災害時の危機管理対応策は適切であるか。		
	④適正な経理処理ができるか。		
	⑤利用者との苦情対応策は適切か。		
	⑥労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		

個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	22	35点 (5点×7人)
その他市長等が必要と認める事項。 (第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	66	105点 (15点×7人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
小計		669	1,050
付加点		35	点
合計		704	(150点×7人)
得点率		67%	人)

※ 審査の採点方法は、各審査項目について、配点に応じて評価点に所定の掛け率を乗じ採点した。

※ 各項目の採点基準（評価点）

- 5点 要件を十分に満たしている。
- 4点 多少工夫の余地はあるが、ほぼ要件を満たしている。
- 3点 基本的な水準を満たしている。
- 2点 多くの問題があり、基本的な水準に達していない。
- 1点 全く要件を満たしていない。

例：配点20点の場合は、評価点5点×4倍

※ 付加点とは、当該選定施設を現に管理運営している指定管理者が応募した場合に、過去の管理運営実績に基づいた行政による評価結果及び市民評価委員会による評価結果により、定められた点数を、上記審査項目得点合計に加算するものである。

<指定管理者導入施設行政評価及び市民評価委員会による評価結果>

	評価点	付加点
1	128点以上	+20点
2	120点以上 128点未満	+15点
3	112点以上 120点未満	+10点
4	104点以上 112点未満	+5点
5	96点以上 104点未満	0点
6	88点以上 96点未満	-5点
7	80点以上 88点未満	-10点
8	72点以上 80点未満	-15点
9	72点未満	-20点

本施設については、株式会社 日野市企業公社に対して、行政評価及び市民評価による評価結果（評価点107.9点）に基づき、5点×7名=35点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 株式会社 日野市企業公社

(5) 指定期間

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 29 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・本施設における市民の平等な利用、利用率向上及び利用者に対するサービスの向上のための方策があることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・施設の美化や出入口のバリアフリー化等の改善については、市が管理組合と調整をしていただきたい。
- ・文化施設であるため、清潔に保つよう日常管理を徹底していただきたい。

施設名：日野市民会館、七生公会堂、七生福祉センター

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・ 市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①利用者の意見を反映する仕組みがあるか。
 - ②施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。
- ・ 公の施設の効用を最大限に発揮することについて
 - ①施設の目的を、効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。

(2) 応募団体名

株式会社 日野市企業公社

(3) 採点表

8名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	(株)日野市企業公社 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	262	400点 (50点×8人)
	②利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	③施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (第4条第2号)	①施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。	154	240点 (30点×8人)
	②事務効率、経費削減等の工夫がされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	277	400点 (50点×8人)
	②適正な経理処理ができるか。		
	③同種の施設管理運営実績があるか。		
	④防災・防犯及び非常災害時の危機管理対応策は適切であるか。		
	⑤日常的な安全管理が十分に考えられているか。		
	⑥利用者との苦情対応策は適切か。		
	⑦労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		

個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	26	40点 (5点×8)
その他市長等が必要と認める事項。 (第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	74	120点 (15点×8人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
小計		793	1,200
付加点		40	点
合計		833	(150点×8人)
得点率		70%	人

本施設については、株式会社 日野市企業公社に対して、行政評価及び市民評価による評価結果（評価点 110.0 点）に基づき、5 点×8 名=40 点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 株式会社 日野市企業公社

(5) 指定期間

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 27 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・市と連携した事業展開を必要とする本施設の管理運営について、十分な経験があり、施設の特性を活かし安定した公共のサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・指定管理者提案の自主事業を積極的に行っていただきたい。
- ・指定管理者候補者は市の指定管理者として、多数の施設を担当しているので、市民会館、七生公会堂のポスターやチラシの配布、掲示について両施設の広報宣伝を強化していただきたい。
- ・市民会館については、ホール以外（展示室、和室、練習室）についても、施設の特性を活かし、利用率向上のため、市民に周知していただきたい。
- ・七生福祉センターの設置目的を考慮し、高齢者向けの自主事業も企画し、利用率向上に努めていただきたい。
- ・各施設とも経費節減のため節電対策を行っていただきたい。

施設名：日野市立交流センター（豊田駅北、南平駅西、東町、落川、新町、平山）

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

・市民の平等な利用及びサービスの向上について

①利用者の意見を反映する仕組みがあるか。

②利用者とのトラブル未然防止策及び対応策は適切か。

(2) 応募団体名

株式会社 日野市企業公社

(3) 採点表

6名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	(株)日野市企業公社 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	233	390点 (65点×6人)
	②だれでも利用できる配慮はなされているか。		
	③利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	⑤地域との連携が図られているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (第4条第2号)	①公の施設としての効用や設置目的を発揮できるものになっているか。	54	90点 (15点×6人)
	②経費削減等の工夫がされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	172	270点 (45点×6人)
	②適正な経理処理ができるか。		
	③同種の施設管理運営実績があるか。		
	④防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。		
	⑤日常的な安全管理が十分に考えられているか		
	⑥利用者とのトラブル未然防止策及び対応策は適切か。		
	⑦労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		

個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	19	30点 (5点×6人)
その他市長等が必要と認める事項。 (第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	71	120点 (20点×6人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
小 計		549	900点 (150点×6人)
付 加 点		30	
合 計		579	
得 点 率		65%	

本施設については、株式会社 日野市企業公社に対して、行政評価及び市民評価による評価結果（評価点 108.0 点）に基づき、5 点×6 名=30 点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 株式会社 日野市企業公社

(5) 指定期間

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 29 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・各交流センターの現状認識の上、それぞれの特性を考慮した利用率向上の提案がされている。
- ・事業者の提案する運営方針等は、一部の市民が優遇されたり、不利となるような事業計画となっていないことから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・特に利用率の低い「東町交流センター」については、祭礼、盆踊りだけにとどまらず、映画会などを企画して、地域の住民との交流の場としていただきたい。
- ・平山交流センターについては、公民館と連携し自主事業を行い、利用率向上を図っていただきたい。
- ・市からの管理基準仕様書では、使用状況（件数・人数等）の報告書の提出については、年 2 回（6 ヶ月に 1 度）としているが、毎月報告し、細かくフォローしていただきたい。
- ・安定した市民サービスの提供をするために計画的な職員研修（接遇及び普通救命講習受講等）を自社社員のみならず委託先に対しても実施していただきたい。

施設名：日野市勤労・青年会館

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・施設の効用発揮・管理に要する経費の縮減について
 - ①事務効率、経費削減等の工夫がされているか。
 - ②施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。

- ・管理を安定して行う物的及び人的な能力について
 - ①防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。

(2) 応募団体名

株式会社 日野市企業公社

(3) 採点表

7名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	(株)日野市企業公社 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	202	315点 (45点×7人)
	②だれでも利用できる配慮はなされているか。		
	③利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	⑤地域との連携が図れているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (第4条第2号)	①施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。	206	315点 (45点×7人)
	②事務効率、経費削減等の工夫がされているか。		
	③施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	192	280点 (40点×7人)
	②適正な経理処理ができるか。		
	③同種の施設管理運営実績があるか。		
	④防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。		
	⑤利用者との苦情対応策は適切か。		
	⑥労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		

個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	24	35点 (5点×7人)
その他市長等が必要と認める事項。 (第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	67	105点 (15点×7人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
小計		691	1,050
付加点		70	点
合計		761	(150点×7人)
得点率		73%	人)

本施設については、株式会社 日野市企業公社に対して、行政評価及び市民評価による評価結果（評価点 113.3 点）に基づき、10 点×7 名=70 点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 株式会社 日野市企業公社

(5) 指定期間

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 29 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・周辺に無料利用可能な他施設がある中で、毎年利用率が向上していること、高齢者、障害者などに対する案内、サービスの工夫がなされていること、また、防災・防犯への対応策も適切等、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・和室の特性を活かし、日本の文化を紹介するような特色ある講座を行い、若者や外国人等、新しい利用者増加に取り組んでいただきたい。また、受講者が自主的なサークル活動に発展するよう努めていただきたい。
- ・駅から近い利点をフルに活用していただきたい。
- ・震災時の帰宅困難者を受入れした施設である。震災等緊急対応については、担当課と緊急連絡体制の再確認と防災訓練の実施をしていただきたい。

施設名：日野駅西駐輪場、豊田駅南第4駐輪場

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。

- ・公の施設の効用を最大限に発揮することについて
 - ①施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。
 - ②施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。

(2) 応募団体名

株式会社 日野市企業公社

(3) 採点表

7名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	(株)日野市企業公社 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	191	280点 (40点×7人)
	②だれでも利用できる配慮はなされているか。		
	③利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	⑤地域との連携が図れているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (第4条第2号)	①施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。	222	350点 (50点×7人)
	②事務効率、経費削減等の工夫がされているか。		
	③施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	186	280点 (40点×7人)
	②同種の施設管理運営実績があるか。		
	③防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。		
	④適正な経理処理ができるか。		
	⑤利用者との苦情対応策は適切か。		
	⑥労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		

個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	24	35点 (5点×7人)
その他市長等が必要と認める事項。 (第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	63	105点 (15点×7人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
小計		686	1,050
付加点		0	点
合計		686	(150点×7人)
得点率		66%	人)

本施設については、株式会社 日野市企業公社に対して、行政評価及び市民評価による評価結果（評価点 100.4 点）に基づき、付加点は 0 点。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 株式会社 日野市企業公社

(5) 指定期間

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 29 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安の得点も評価点基準を満たしている。
- ・本施設における市民の平等な利用、利用率向上及び利用者に対するサービスの向上のための方策があることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・豊田駅南第4駐輪場は100%利用を目指し取組んでいただきたい。
- ・現場で受入れ／出しの担当しているシルバー人材センター担当者は施設定期利用のPR、声掛けをしていただきたい。
- ・レンタサイクル制度導入の実現に向けて努力していただきたい。
- ・市として、日野駅西駐輪場の利用率向上のため、近隣駐輪場の有料化の検討を進めていただきたい。

施設名：日野市立中央福祉センター、日野市立湯沢福祉センター

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①高齢者、障害者などに対する案内、サービスの工夫がなされているか。
- ・管理に要する経費の縮減を図ることについて
 - ①事務効率、経費削減等の工夫がされているか。

(2) 応募団体名

社会福祉法人 日野市社会福祉協議会

(3) 採点表

7名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	(社)日野市社会福祉協議会 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (第4条第1号)	①市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されているか。	148	210点 (30点×7人)
	②利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	③施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (第4条第2号)	①施設の目的を、効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。	112	175点 (25点×7人)
	②事務効率、経費削減等の工夫がされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	267	385点 (55点×7人)
	②労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		
	③適正な経理処理ができるか。		
	④同種の施設管理運営実績があるか。		
	⑤防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。		
	⑥日常的な安全管理が十分に考えられているか。		
	⑦利用者とのトラブルの未然防止策及び対応策は適切か。		

個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	63	105点 (15点×7人)
	②情報公開を行うための体制が整っているか。		
その他市長等が必要と認める事項。(第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	105	175点 (25点×7人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
小計		695	1,050点 (150点×7人)
付加点		35	
合計		730	
得点率		70%	

本施設については、社会福祉法人 日野市社会福祉協議会に対して、行政評価及び市民評価による評価結果（評価点 105.5 点）に基づき、5 点×7 名=35 点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

社会福祉法人 日野市社会福祉協議会

(5) 指定期間

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 29 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・高齢者、障害者に対する案内、サービスの工夫がなされていること、利用者との苦情等トラブル未然防止策及び対応策について、マニュアルの整備、研修されていることを評価した。
- ・本施設について十分な経験があることから公の施設としての安定したサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・年々利用者数が減少しているので、施設利用者数を増やす取り組みをしていただきたい。
- ・施設の老朽化、高齢者の利用が多いため、安全面に配慮し、特に夜間など緊急時の対応と人員体制等を整えて施設運営をしていただきたい。

施設名：日野市立つばさ

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られているか。
- ・公の施設の効用を最大限に発揮することについて
 - ①利用者の増加及び利用率の向上が図られているか。

(2) 応募団体名

社会福祉法人 日野市福祉事業団

(3) 採点表

7名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	(社)日野市福祉事業 団 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (第4条第1号)	①訓練等給付費が支給されている障害者が平等に利用契約に基づき施設を利用できるようになっているか。	237	350点 (50点×7人)
	②障害のある市民及びその家族が利用できる配慮はなされているか。		
	③利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	⑤地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られているか		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (第4条第2号)	①公の施設の効用を最大限に発揮できるものになっているか。	152	245点 (35点×7人)
	②事務効率、経費削減等の工夫がされているか。		
	③利用者の増加及び利用率の向上が図られているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	204	315点 (45点×7人)
	②防災・防犯時の危機管理対応策は適切であるか。		
	③日常的な安全管理が十分に考えられているか。		
	④日常的な衛生管理が十分に考えられているか。		

	⑤労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		
個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	23	35点 (5点×7人)
その他市長等が必要と認める事項。 (第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	68	105点 (15点×7人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
	小計	684	1,050
	付加点	35	点
	合計	719	(150点×7人)
	得点率	69%	

本施設については、社会福祉法人 日野市福祉事業団に対して、行政評価及び市民評価による評価結果(評価点 105.2 点)に基づき、5 点×7 名=35 点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 社会福祉法人 日野市福祉事業団

(5) 指定期間

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 26 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・障害者自立支援法に基づき障害者の日々の活動を支援する施設として、市と協調して事業を展開する必要のある当該施設の管理運営について十分な経験があることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・それぞれの事業の定員確保に関係各機関との連携と強い働きかけをしていただきたい。
- ・特に就労継続支援(B)事業については、新たな利用者の獲得に取り組んでいただきたい。
- ・魅力ある作業科目の開発にも取り組んでいただきたい。
- ・障害者の関わる施設として大震災を考慮した対応マニュアルの作成と訓練の実施を継続していただきたい。
- ・利用者一人ひとりに合ったサービスが十分に受けられるように配慮をしていただきたい。
- ・送迎運転委託業務は、特命随意契約で1社のみと契約しているが、一般競争入札が導入できないか検討していただきたい。

施設名：日野市立やまばと

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①障害がある市民及びその家族が利用できる配慮はなされているか。
 - ②利用者の意見を反映する仕組みがあるか。
 - ③地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られているか。
 - ④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。

(2) 応募団体名

社会福祉法人 日野市福祉事業団

(3) 採点表

7名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	(社)日野市福祉事業 団 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (第4条第1号)	①障害のある市民及びその家族の平等な利用が確保されているか。	330	490点 (70点×7人)
	②障害のある市民及びその家族が利用できる配慮はなされているか。		
	③利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	⑤地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の削減を図ることができるものであること。 (第4条第2号)	①公の施設の効用を最大限に発揮できるものになっているか。	88	140点 (20点×7人)
	②事務効率、経費削減等の工夫がされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	185	280点 (40点×7人)
	②防災・防犯時の危機管理対応策は適切であるか。		
	③日常的な安全管理が十分に考えられているか。		

	④日常的な衛生管理が十分に考えられているか。		
	⑤労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		
個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	22	35点 (5点×7人)
その他市長等が必要と認める事項。 (第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	68	105点 (15点×7人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
	小 計	693	1,050
	付 加 点	35	点
	合 計	728	(150点×7人)
	得 点 率	70%	人)

本施設については、社会福祉法人 日野市福祉事業団に対して、行政評価及び市民評価による評価結果(評価点 106.9 点)に基づき、5 点×7 名=35 点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 社会福祉法人 日野市福祉事業団

(5) 指定期間

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 26 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・障害者自立支援法に基づき障害者の日々の活動を支援する施設として、市と協調して事業を展開する必要のある当該施設の管理運営について十分な経験があることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・新たな利用者増のため、若年層用の支援メニューの提供に取り組んでいただきたい。
- ・障害者の関わる施設として大震災を考慮した対応マニュアルの作成と訓練の実施を継続していただきたい。
- ・施設運営には、地域の自治会、ボランティア等と連携していただきたい。
- ・送迎運転委託業務は、特命随意契約で1社のみと契約しているが、一般競争入札が導入できないか検討していただきたい。

施設名：日野市立はくちょう

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。
 - ②地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られているか。

(2) 応募団体名

社会福祉法人 日野市福祉事業団

(3) 採点表

7名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	(社)日野市福祉事業 団 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (第4条第1号)	①介護給付費が支給されている障害者が平等に利用契約に基づき施設を利用できるようになっているか。	278	490点 (70点×7人)
	②障害のある市民及びその家族が利用できる配慮はなされているか。		
	③利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	⑤地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られているか		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の削減を図ることができるものであること。 (第4条第2号)	①公の施設の効用を最大限に発揮できるものになっているか。	82	140点 (20点×7人)
	②事務効率、経費削減等の工夫がされているか。		
	③利用者の増加及び利用率の向上が図られているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	220	280点 (40点×7人)
	②防災・防犯時の危機管理対応策は適切であるか。		
	③日常的な安全管理が十分に考えられているか。		
	④日常的な衛生管理が十分に考えられているか。		
	⑤労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		

個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	23	35点 (5点×7人)
その他市長等が必要と認める事項。 (第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	67	105点 (15点×7人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
小計		670	1,050
付加点		35	点
合計		705	(150点×7人)
得点率		68%	人)

本施設については、社会福祉法人 日野市福祉事業団に対して、行政評価及び市民評価による評価結果(評価点 106.0 点)に基づき、5 点×7 名=35 点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 社会福祉法人 日野市福祉事業団

(5) 指定期間

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 26 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・障害者自立支援法に基づき、重度の知的障害者の日々の活動を支援する施設として、市と協調して事業を展開する必要のある当該施設の管理運営について十分な経験があること、施設の特長を生かした提案がされていること、地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られていることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・利用率を上げる取り組みとあわせ、利用者一人ひとりの支援にも丁寧に対応していただきたい。
- ・重度障害者の利用施設であるので、大震災等も考慮して実施訓練も含めて対応していただきたい。
- ・公の施設としての障害者施設の役割でもあるセーフティネットを念頭において、民間施設からの障害者の受入れを継続していただきたい。
- ・公の施設であるため情報提供の拠点として、他の民間施設のネットワークに加わると共に情報提供をし、当該施設利用者、家族、関係機関、地域とあらゆる面で連携していただきたい。
- ・長期欠席者の対応を考慮していただきたい。
- ・送迎運転委託業務は、特命随意契約で1社のみと契約しているが、一般競争入札が導入できないか検討していただきたい。

施設名：日野市立希望の家

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①障害のある子供及びその家族が利用できる配慮はなされているか。
 - ②施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。
 - ③地域、関係機関、ボランティア等との連携が図れているか。

(2) 応募団体名

社会福祉法人 日野市福祉事業団

(3) 採点表

7名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	(社)日野市福祉事業 団 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (第4条第1号)	①障害のある子ども及びその家族の平等な利用が確保されているか。	382	455点 (65点×7人)
	②障害のある子ども及びその家族が利用できる配慮はなされているか。		
	③利用者（保護者）の意見を反映する仕組みがあるか。		
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	⑤地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (第4条第2号)	①公の施設の効用を最大限に発揮できるものになっているか。	102	140点 (20点×7人)
	②事務効率、経費削減等の工夫がされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	215	315点 (45点×7人)
	②防災・防犯時の危機管理対応策は適切であるか。		
	③日常的な安全管理が十分に考えられているか。		
	④日常的な衛生管理が十分に考えられているか。		

	⑤労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		
個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	23	35点 (5点×7人)
その他市長等が必要と認める事項。 (第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	78	105点 (15点×7人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
	小 計	800	1,050
	付 加 点	70	点
	合 計	870	(150点×7人)
	得 点 率	83%	人)

本施設については、社会福祉法人 日野市福祉事業団に対して、行政評価及び市民評価による評価結果(評価点 112.5点)に基づき、10点×7名=70点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 社会福祉法人 日野市福祉事業団

(5) 指定期間

平成24年4月1日 から 平成26年3月31日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・障害者自立支援法に基づく学齢前の発達に不安のある子ども及び障害のある子どもの育ちを支援する施設であるとして、また、保護者の子育てに対する不安を軽減する施設として市と協調して事業を展開する必要のある当該施設の管理運営について十分な経験がある、また管理運営について、熱意・意欲、積極性が感じられることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・施設の利用者も多く、施設も老朽化しているので、安全対策には万全を期していただきたい。また、災害時には隣接する公共施設の職員と連携し、安全な施設へ避難誘導できる体制を整えていただきたい。
- ・災害時の対応以外で家庭(親の病気等)の緊急事態の受入体制が少しでも早く出来るようにしていただきたい。
- ・送迎運転委託業務は、特命随意契約で1社のみと契約しているが、一般競争入札が導入できないか検討していただきたい。

施設名：日野市東部会館

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・ 市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①利用者の意見を反映する仕組みがあるか。
- ・ 事業計画に沿った管理を安定して行うについて
 - ②日常的な安全管理が十分に考えられているか。

(2) 応募団体名

株式会社 日野市企業公社

(3) 採点表

6名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	(株)日野市企業公社 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	241	360点 (60点×6人)
	②だれでも利用できる配慮はなされているか。		
	③利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	⑤地域との連携が図られているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (第4条第2号)	①公の施設としての効用や設置目的を発揮できるものになっているか。	54	90点 (15点×6人)
	②経費削減等の工夫がされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	189	350点 (50点×6人)
	②適正な経理処理ができるか。		
	③防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。		
	④日常的な安全管理が十分に考えられているか。		
	⑤利用者とのトラブル未然防止策及び対応策は適切か。		

	⑥労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		
個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	19	30点 (5点×6人)
その他市長等が必要と認める事項。 (第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	75	120点 (20点×6人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
小 計		578	900点 (150点×6人)
付 加 点		60	
合 計		638	
得 点 率		71%	

本施設については、株式会社 日野市企業公社に対して、行政評価及び市民評価による評価結果（評価点 113.4 点）に基づき、10 点×6 名=60 点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 株式会社 日野市企業公社

(5) 指定期間

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 27 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・事業計画書等の内容から、市民の平等な利用が確保されている。
- ・本施設の管理運営について、十分な経験があり、施設の特徴を活かし安定した公共サービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・会館の利用者増、利用率向上については、集会室とプールそれぞれに対する創意工夫した計画と実行に取り組んでいただきたい。
- ・プール運営については、委託業者に一任せず、緊急時の対応をすみやかに行っていただきたい。
- ・夜間でのトラブル対応について、指定管理者内の緊急対応体制を確立していただきたい。
- ・温水プールを持つ日野で唯一のコミュニティ施設なので、市民全体に対しての PR に努めていただきたい。
- ・和室、料理実習室の利用率を向上させる方策に取り組んでいただきたい。

施設名：日野市立万願寺交流センター

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・ 市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①利用者の意見を反映する仕組みがあるか。
- ・ 事業計画に沿った管理を安定して行うについて
 - ①利用者とのトラブル未然防止策及び対応策は適切か。

(2) 応募団体名

NPO 法人 日野子育てパートナーの会

(3) 採点表

6名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	NPO 法人日野子育てパートナーの会 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	295	390点 (65点×6人)
	②だれでも利用できる配慮はなされているか。		
	③利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	⑤地域との連携が図られているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (第4条第2号)	①公の施設としての効用や設置目的を発揮できるものになっているか。	68	90点 (15点×6人)
	②経費削減等の工夫がされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	183	270点 (45点×6人)
	②適正な経理処理ができるか。		
	③防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。		
	④日常的な安全管理が十分に考えられているか。		
	⑤利用者とのトラブル未然防止策及び対応策は適切か。		

	⑥労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		
個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	19	30点 (5点×6人)
その他市長等が必要と認める事項。 (第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	92	120点 (20点×6人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
	小 計	657	900点 (150点×6人)
	付 加 点	60	
	合 計	717	
	得 点 率	80%	

本施設については、NPO 法人 日野子育てパートナーの会に対して、行政評価及び市民評価による評価結果（評価点 115.8 点）に基づき、10 点×6 名=60 点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 NPO 法人 日野子育てパートナーの会

(5) 指定期間

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 27 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・事業計画書等の内容から、利用者の意見を反映する仕組みや施設の特性を生かしたサービスが提案されていること。また、管理運営について、熱意・意欲、積極性が感じられることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・交流センターですので、子育て専用の施設という先入観を与えないよう、世代を越えた地域の交流の場として、地域の特性を活かした人材を活用できるような取り組みもしていただきたい。

施設名：日野市立多摩平交流センター

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・ 市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①利用者の意見を反映する仕組みがあるか。
- ・ 事業計画に沿った管理を安定して行うについて
 - ①利用者とのトラブル未然防止策及び対応策は適切か。

(2) 応募団体名

NPO 法人 市民サポートセンター日野

(3) 採点表

6名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	NPO 法人市民サポートセンター日野 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	293	390点 (65点×6人)
	②だれでも利用できる配慮はなされているか。		
	③利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	⑤地域との連携が図られているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (第4条第2号)	①公の施設としての効用や設置目的を發揮できるものになっているか。	64	90点 (15点×6人)
	②経費削減等の工夫がされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	197	270点 (45点×6人)
	②適正な経理処理ができるか。		
	③防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。		
	④日常的な安全管理が十分に考えられているか。		
	⑤利用者とのトラブル未然防止策及び対応策は適切か。		

	⑥労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		
個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	20	30点 (5点×6人)
その他市長等が必要と認める事項。 (第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	90	120点 (20点×6人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
	小 計	664	900点 (150点×6人)
	付 加 点	30	
	合 計	694	
	得 点 率	78%	

本施設については、NPO 法人 市民サポートセンター日野に対して、行政評価及び市民評価による評価結果（評価点 110.5 点）に基づき、5 点×6 名=30 点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 NPO 法人 市民サポートセンター日野

(5) 指定期間

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 27 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・事業計画書等の内容から、施設の特性を活かしたサービスの提案がなされていた。また、管理運営について、熱意・意欲、積極性が感じられることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・利用率の非常に高い施設であり、公平な受付業務を継続していただきたい。
- ・利用者増、利用率増には、調理室の使い勝手改善が重要なため、利用者の要望も考慮して担当課と改善に取り組んでいただきたい。

施設名：日野市民プール

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・ 公の施設の効用を最大限に発揮することについて
 - ①施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。
- ・ 事業計画に沿った管理を安定して行う能力について
 - ①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修体制が提案されているか。
 - ②同種の施設管理運営実績があるか。
(プール運営、駒形の渡し場運営という、特に人命に直接関わる業務であることを踏まえ)

(2) 応募団体名

ニッセイファシリティ 株式会社
 日野市社会教育センター（辞退）
 シンコースポーツ 株式会社

(3) 採点表

7名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	シンコースポーツ(株) 得点	B社 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されているか。(第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	134	107	175点 (25点×7人)
	②だれでも利用できる配慮はなされているか。			
	③施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。			
	④地域との連携が図られているか。			
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるか。(第4条第2号)	①施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。	255	193	360点 (45点×7人)
	②事務効率、経費削減等の工夫がされているか。			
	③施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。			
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有しているか。(第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	332	267	385点 (55点×7人)
	②同種の施設管理運営実績があるか。			
	③防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。			
	④適正な経理処理ができるか。			

	⑤利用者との苦情対応策は適切か。			
	⑥労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。			
個人情報等について適正な管理が確保されるか。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	25	20	35点 (5点×7人)
その他市長等が認める事項。(第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	115	83	140点 (20点×7人)
	②運営方針等から熱意・意欲が感じられるか。			
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。			
	小 計	861	670	1,050点 (150点×7人)
	付 加 点	105	0	
	合 計	966	670	
	得 点 率	92%	64%	
	順 位	1	2	

本施設については、シンコースポーツ 株式会社に対して、行政評価及び市民評価による評価結果（評価点 121.0 点）に基づき、15 点×7 名=105 点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 シンコースポーツ 株式会社

(5) 指定期間

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 29 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・評価点基準を満たしているため。また、評価点を満たす 2 社の内、審査結果が上位であるため。
- ・本施設における十分な経験があり、事業計画書等から安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できている。また、地域との連携の提案があり、熱意・意欲、積極性が感じられることから、公の施設としてサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・外部に委託している施設維持管理業務については、業者と十分な連携対応をしていただきたい。
- ・非常災害時の危機管理対応に対応できる体制を徹底していただきたい。
- ・施設の利用目標を実現するため、多様なサービスプログラムの企画を実行していただきたい。
- ・プール閉鎖期間の施設利用について地域と連携した取り組みをしていただきたい。

施設名：日野市立グラウンド等（全14施設）

（1）選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・管理に要する経費の縮減を図ることについて
 - ①事務効率、経費削減等の工夫がされているか。
- ・事業計画に沿った管理を安定して行う能力について
 - ①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。

（2）応募団体名

シンコースポーツ 株式会社
 株式会社 フクシ・エンタープライズ
 株式会社 日野市企業公社
 有限会社 あづみ工房

（3）採点表

7名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	㈱フクシ・ エンタープ ライズ 得点	B社 得点	C社 得点	D社 得点	配点合計
市民の平等な利用 及びサービスの向 上が確保されてい るか。（第4条第1 号）	①市民の平等な利用が確保されて いるか。	169	146	153	122	210点 (30点×7 人)
	②だれでも利用できる配慮はなさ れているか。					
	③施設の特徴を生かしたサービ スが提案されているか。					
	④地域との連携が図られているか。					
事業計画書等の内 容が、公の施設の効 用を最大限に發揮 するとともに、管理 に要する経費の縮 減を図ることがで きるか。 (第4条第2号)	①施設の目的を効果的かつ効率的 に達成できるものになっているか。	230	198	178	128	280点 (40点×7 人)
	②事務効率、経費削減等の工夫がさ れているか。					
	③施設の利用率を向上させるため の具体的な提案がなされているか。					
事業計画に沿った 管理を安定して行 う物的及び人的な 能力を有している か。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するた めの職員体制、職員研修が実施でき るか。	282	299	210	226	385点 (55点×7 人)
	②同種の施設管理運営実績がある か。					
	③防災・防犯及び非常災害時等の危 機管理対応策は適切であるか。					

	④適正な経理処理ができるか。					
	⑤利用者との苦情対応策は適切か。					
	⑥労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。					
個人情報等について適正な管理が確保されるか。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	24	23	21	21	35点 (5点×7人)
その他市長等が認める事項。(第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	107	100	93	78	140点 (20点×7人)
	②運営方針等から熱意・意欲が感じられるか。					
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。					
小 計		812	766	662	575	1,050 点(150点×7人)
付 加 点		0	0	0	0	
合 計		812	766	662	575	
得 点 率		78%	73%	63%	55%	
順 位		1	2	3	4	

各応募者の付加点は0点。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 株式会社 フクシ・エンタープライズ

(5) 指定期間

平成24年4月1日 から 平成29年3月31日 まで

(6) 選定理由

- ・評価点基準を満たしているため。また、評価点を満たす3社の内、審査結果が上位であるため。
- ・本施設における経費削減等の工夫がなされている、また管理運営について、熱意・意欲、積極性が感じられることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・現指定管理者と新指定管理者は現場情報を十分引継いでいただきたい。
これまで実施されていた業務の水準を低下させることのない様に市民サービスの向上に努めていただきたい。現指定管理者は、きめ細かく現場のトラブルへの対応をされていることを認識していただきたい。
- ・大震災により起因する河川の増水対策についても準備していただきたい。
- ・運動施設管理の専門業者であり、自主事業や専門性を活かした施設運営を実施していただきたい。
- ・地域、スポーツ諸団体との緊密な関係を確立していただきたい。